



武田 賢一

たけの寿司 店主
 〈寿司・和食・創作料理〉

昭和43年に大阪で生まれた自分が小樽でこうして楽しんで寿司を握っているのは、自分でも不思議です。たまたま小樽の寿司屋の大将と東京で知り合い意気投合。平成4年、東京をあとに来樽、即異籍入社。最初は「とんでもない田舎」「なんだこの積雪は」と思いましたが、逆に人と人のつながりの強さにも驚いたことが小樽に腰を据えるキッカケでした。大阪や東京では感じなかったことです。

平成25年に独立して「たけの寿司」を開店。昼間は観光客、夜は地元の宴会客という二刀流で頑張っています。

自分は「大売りではなく小売りの精神」を大事にしたいと志しています。統計やニーズ調査やアクセス調査によって左右する店ではなく、人と人のつながりを大切にすることから「小売り」と名付けられたはず。地元はもちろん一元の観光客でも態度や服装で概略がわかりますので、個々人の視点に立って対面を心掛けています。

建物履歴

明治35年 中山倉庫石蔵(ヤマジョウ印)
 明治40年 中山倉庫は中山合名会社に組織変更
 大正初期 中山倉庫自宅として木造増築
 昭和初期 料理店に転用、その後深谷電器が社屋として再利用
 平成3年 東京本社の養老之瀧株式会社が所有、寿司処多喜二・民宿旅籠に賃貸
 平成25年 山本憲治所有、たけの寿司・蝦夷屋に賃貸

〒047-0027 小樽市堺町2番22号
 ☎ 0134-25-1505
<http://www.takenosushisushi.com>
 E-mail: takeno_sushi@yahoo.co.jp



外観



格子窓の和風個室



稲葉 圭計

PRESS CAFE' オーナー
 〈カフェ(カレーライス、パスタ、ほかドリンク)〉

私は平成元年に札幌で店舗「PRESS CAFE'」を立ち上げましたが、大家失踪で閉店を余儀なくされ放浪生活をしていたときに、小樽の知人にこの場所を紹介され、その魅力にいつべんに取り憑かれました。運河の原形、歴史的建造物、北前船の倉庫群などのロケーションへの一目惚れです。

平成18年6月に新たにPRESS CAFE'を現地にオープン。営業成績は少しずつ右肩上がりです。推移してきたが、オープン当所は「あれ?!こんな素晴らしいロケーションなのに、なぜ誰もこのへんを歩かないのだろうか?」と驚きました。でも札幌の友人達や観光客が訪れるようになり、次第に小樽の人々が来てくれるようになりました。

ほとんど知人がいない小樽への移転でしたが、特に不安もなくむしろ先入観なしで「何も知らないのを色々教えてください」というスタンスで臨んだせいか、割と早い段階で地元で馴染んで来たかも知れません。多分、旅人気分のような感じで(笑)。

よく「小樽の人は保守的だからネ」と言われましたが、10年間そんな印象は持ったことはないので心配ご無用かと思えます。

現在も、公私にわたり随分と助けられていますから。

建物履歴

明治28年 遠藤又兵衛倉庫→洪澤倉庫→ブルーハウス
 平成3年 小樽市歴史的建造物指定
 平成18年 PRESSCAFE
 平成22年 小樽GOLD STONE購入、賃貸
 平成23年 小樽市都市景観賞

〒047-0031 小樽市色内3丁目3番21号 旧洪澤倉庫内
 ☎ & FAX 0134-24-8028
<http://www.presscafe.biz/>
 E-mail: presscafe@palette.plala.or.jp



外観



吹き抜けのゆったりとした店内